

各 位

会 社 名 高砂熱学工業株式会社

(コード番号 1969 東証第 1 部)

代 表 者 役職名 取締役社長

氏 名 大内 厚

問合せ先責任者 役職名 取締役常務執行役員

総務本部長

氏 名 木下悠紀治

TEL (03) 3255-8212

(URL <http://www.tte-net.co.jp>)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	受注高
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	百万円
前回発表予想 (A)	84,000	△1,400	△1,000	△500	△6.22	120,000
今回修正予想 (B)	89,700	30	440	△2	△0.03	99,584
増減額 (B-A)	5,700	1,430	1,440	498	—	△20,415
増減率 (%)	6.8	—	—	—	—	△17.0
(ご参考) 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期実績	79,794	△529	△129	△241	△2.99	105,391

2. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	受注高
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	百万円
前回発表予想 (A)	74,000	△1,700	△1,000	△500	△6.22	110,000
今回修正予想 (B)	79,800	△80	580	220	2.84	88,348
増減額 (B-A)	5,800	1,620	1,580	720	—	△21,651
増減率 (%)	7.8	—	—	—	—	△19.7
(ご参考) 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期実績	71,025	△767	△189	△62	△0.78	97,207

3. 修正の理由

第2四半期累計期間の業績は、主に当社（個別）において、工事の進捗が期初の想定を上回ったことに加え、工事採算性の改善と経費の節減に努めた結果、売上高および利益面について期初計画を上回る見込みとなりました。

通期の業績予想は、受注の動向等を踏まえ、見直しを行った上で11月11日予定の第2四半期決算発表時にお知らせいたします。なお、11月4日付プレスリリース「業務遂行の過程で生じた損害に関するお知らせ」のとおり、通期業績に影響を与える場合は適時適切に開示してまいります。

(参考)受注高実績内訳[速報]

【連結】

(単位:百万円、%)

区分		期別		前年同四半期累計期間 (自 H21. 4. 1 至 H21. 9. 30)		当第2四半期累計期間 (自 H22. 4. 1 至 H22. 9. 30)		増減(△)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率		
設備工事業	一般空調設備	75,156	71.3	69,598	69.9	△5,558	△7.4		
	産業空調設備	26,877	25.5	26,506	26.6	△370	△1.4		
	計	102,034	96.8	96,105	96.5	△5,928	△5.8		
設備機器の製造・販売事業		3,264	3.1	3,390	3.4	126	3.9		
その他の事業		92	0.1	88	0.1	△3	△4.3		
合計 (うち海外)		105,391 (3,672)	100.0 (3.5)	99,584 (6,829)	100.0 (6.9)	△5,806 (3,156)	△5.5 (86.0)		

【個別】

(単位:百万円、%)

区分		期別		前年同四半期累計期間 (自 H21. 4. 1 至 H21. 9. 30)		当第2四半期累計期間 (自 H22. 4. 1 至 H22. 9. 30)		増減(△)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率		
設備工事業	一般空調設備	73,933	76.1	68,455	77.5	△5,477	△7.4		
	産業空調設備	23,274	23.9	19,893	22.5	△3,381	△14.5		
合計		97,207	100.0	88,348	100.0	△8,858	△9.1		

- (注) 1. 確報につきましては、第2四半期決算短信において公表いたします。
 2. 連結におけるセグメント間取引については、相殺消去しております。
 3. 日本フローダ株(連結子会社)の事業は、従来、「設備工事業」に区分しておりましたが、事業の内容を見直したことにより、第1四半期連結累計期間から「設備機器の製造・販売事業」に変更しております。
 これにより、従来の方による場合と比べて当第2四半期連結累計期間の「設備工事業」(一般空調設備)の受注高は637百万円減少し、「設備機器の製造・販売事業」は同額増加しております。
 なお、前第2四半期連結累計期間の数値については、変更後の区分に組み替えて表示しております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上